

## 河川敷地の一時使用届出書

令和 年 月 日

国土交通省荒川下流河川事務所

出張所長 あて

下記のとおり河川敷地の一時使用について届出ます。

届 出 者	住 所			
	名 称 (会社名、学校名等)			
	氏名(代表者名)			
	届出に関する担当者 利用日当日担当者 メールアドレス		電話	電話
河川の名称	荒川水系	荒川 右・左 岸		
使用目的				
使用場所	地先			
	( 緊急用河川敷道路・ 天端 ・ その他 (      ) )			
使用人員	名			
簡易仮設物の名称、 構造及び数量	なし ・ 別添資料のとおり			
使用期間 (予備日)	令和 年 月 日 (      )	時	分から	
	令和 年 月 日 (      )	時	分まで	
	令和 年 月 日 (      )	時	分から	}
	令和 年 月 日 (      )	時	分まで	
使用上の遵守事項  (※遵守事項及び 出張所長からの指 導に従わなかった 場合には、以後1年 間「河川敷地の一時 使用届出書」の受理 拒否はされても異 議は申しません。)	<p>河川の使用にあたっては、届出内容及び以下の事項を遵守します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. この届は排他独占的な河川使用の許可ではないことから、新・荒川下流河川敷利用ルールを守るとともに、他の河川利用者との利用調整を十分図り、必要な安全対策を行います。</li> <li>2. 使用中は、緊急車両や他の河川敷利用者が通行できる道幅を確保します。</li> <li>3. 周辺住民や他の河川利用者に迷惑をかけないように十分注意します。苦情が出た際には、速やかに届出をした者の責任において処理します。</li> <li>4. 使用中は、気象情報に留意し、出水等の恐れがある場合は使用を中止し、自らの責任において対処します。なお、簡易工作物がある場合は速やかに撤去します。</li> <li>5. 後片付け等の河川の美化・河川環境保全に万全を期し、ゴミは持ち帰ります。</li> <li>6. 現況の敷地を改変せずに使用します。</li> <li>7. 河川管理施設を損傷した場合は、速やかに出張所長に届け出て、その指示に従います。また、当該河川管理施設の原状回復に要する費用は、全て当方が負担します。</li> <li>8. 使用が原因し、第三者に損害を与えた場合は、速やかに出張所長に届け出て、その指示に従います。また、当方が解決にあたります。</li> <li>9. 無人航空機(ドローン・ラジコン機等)の飛行については、提出した無人航空機飛行計画書に基づき行います。</li> <li>10. 無人航空機を飛行させる場合は、一時使用届の写しを現場の見やすい場所に掲示します。</li> <li>11. 出張所長から指導があった場合は、その指導に従います。</li> </ol>			
そ の 他				

## 提出書類について【無人航空機（ドローン・ラジコン機等）】

この用紙を届出書と一緒に提出をして下さい。

下記書類を1部作成し、届出書と一緒に提出して下さい。利用内容によっては、下記以外にも資料の提出をお願いする場合があります。

用意した資料に関しては□（チェック欄）を■に塗りつぶして下さい。

➤ **実施内容がわかる資料** 下記内容を充たす実施要項等があればそれを提出しても構いません

	添付する書類	内 容
<input type="checkbox"/>	飛行計画書	別紙4「無人航空機飛行計画書」に飛行の目的、日時、場所等を記載し、次に掲げる書類を添付すること。
<input type="checkbox"/>	飛行範囲図面	飛行範囲のわかる図面（距離を記載すること）
<input type="checkbox"/>	許可書・承認書、無人航空機飛行マニュアルの写し	航空法の許可、承認を受けている場合は、許可書、承認書及び申請時に提出した無人航空機飛行マニュアルの写し
<input type="checkbox"/>	安全確保に関する図面	安全確保するため設定する一般利用者の立入禁止区域を示した図 安全確保を担保する保安要員及び看板の設置計画図
<input type="checkbox"/>	緊急時連絡体制表	緊急時の連絡体制を記載した資料
<input type="checkbox"/>	計画概要書	訓練等の概要、工事・調査等の施工計画
<input type="checkbox"/>	タイムスケジュール	準備から撤収までの流れ
<input type="checkbox"/>	仮設物一覧表	簡易な仮設物（コーン、テント、看板など）として何をいくつ設置するかとその構造及び設置方法

➤ **占有者からの使用許可書の写し**

<input type="checkbox"/>	許可書の写し	<p>※沿川の自治体等が管理しているグラウンドや公園、緑地、橋の下を利用する場合は、その占有者の許可を得る必要があります。占有者への申請は各自で行って下さい。</p> <p>※占有者からの許可書が届出書提出時に間に合わない場合は、許可書が出来次第、速やかに写しを提出して下さい。</p> <p>※占有者から許可書等の書面が発行されない場合（橋の下など）は、了解をもらった日時、相手方の名前及び連絡先が分かる資料を提出して下さい。</p>
--------------------------	--------	--

## 河川敷地の一時使用届出書

令和〇〇年〇月〇日  
国土交通省荒川下流河川事務所

提出する出張所名を記入して下さい。

〇〇〇 出張所長 あて

下記のとおり河川敷地の一時使用について届出ます。

代表者名の記入  
をして下さい。

開催日以前に事前告知看板設置や会場準備をする場合は、それぞれの人員数と、開催日の人員数を分けて記入して下さい。

橋の下やグラウンド・公園等を集合場所等として利用する場合は記入して下さい。  
注意：占有者の許可を得る必要があります。

河川名	荒川水系 荒川 (右) 岸	
使用目的	防災訓練 (ドローン飛行含む) のため	
使用場所	〇〇橋~△△ ( 緊急用河川敷道路・天端・その他 (〇〇橋の下) ) 地先	
使用人員	名	
簡易仮設物の名称、構造及び数量	なし ・ 別添資料のとおり	
使用期間 (予備日)	令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 (火) 08時 00分から 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 (火) 12時 30分まで 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 (金) 08時 00分から 令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 (金) 12時 30分まで	
使用遵守事項	河川の使用にあたっては、届出内容及び以下の事項に準じます。 1. この届は排他独占的な河川使用の許可ではない。河川利用者との利用調整を十分図る。 2. 緊急車両や他の河川敷利用者が通行の河川利用者に迷惑をかけないように十分注意し、古慣が西に際には、速や 3. 使用者の責任において処理します。 4. 天候情報に留意し、出水等の恐れがある場合は使用を中止し、自らの責任におい 5. 後片付け等の河川の美化・河川環境保全に万全を期し、ゴミは持ち帰ります。 6. 現況の敷地を改変せず使用します。 7. 河川管理施設を損傷した場合は、速やかに撤去し、当該河川管理施設の原状回復に努 8. 使用が原因し、第三者に損害を及ぼさないよう注意し、また、当方が解決にあた 9. 無人航空機 (ドローン・ラジコン機) の飛行は、河川敷内を原則として禁止す に基づき行います。 10. 無人航空機を飛行させる場合は、一時禁止の表示を現場の見やすい場所に掲示 11. 出張所長から指導があった場合は、速やかにその指導に従います。	
その他	(※開催日以前に事前告知看板設置や会場準備をする場合は、それぞれの日時と、開催日の日時を分けて記入して下さい。 準備から完全撤収までの時間を記入して下さい。 原則、車両の乗り入れは出来ません。安全管理上又は資材 (仮設物) の搬入出のため車両の乗り入れが必要な場合は別途ご相談下さい。なお、その場合でも河川敷内に駐車は出来ませんので、搬出入後は速やかに退出して下さい。	

## 一時使用届出書の記載要領等(無人航空機) (令和4年2月～)

### ■ 注意事項・禁止事項

「届出書作成にあたっての注意事項・禁止事項(別紙3)」の内容を確認して下さい。

### ■ 提出書類

①河川敷地の一時使用届出書

②提出書類について(別紙1)

③添付書類「別紙1」に記載されている資料一覧のうち、該当するもの全て

上記3点をまとめて遅くとも利用日(ただし参加者を募集する場合は募集を開始する日)の10開庁日(土日祭日、年末年始を除く10日)前までに下記提出先あて 1部提出(オンラインあるいは持参でも可)

※利用範囲が岩淵出張所と小名木川出張所の両方の管轄区間にまたがる場合は、主会場、集合場所を管轄する出張所に提出して下さい。

### ■ 届出書の記載方法

#### 1. 年月日

一時使用届出書を提出するときの年月日を記載して下さい。

#### 2. 出張所長の宛名

一時使用をする場所の該当する出張所長あてとなり、提出先もその出張所になります。

#### 3. 届出者

(1) 住所は「字〇〇番地」まで記載して下さい。

(2) 氏名共同による届出の場合は、共同届出人の氏名をすべて列記するのが原則ですが、「〇〇〇〇外〇〇名」、「代表者〇〇〇〇」と記載しても構いません。

(3) 「届出に関する担当者」には、届出の内容が確認できる方の氏名及び連絡先を記載して下さい。

(4) 「利用日当日担当者」には、利用日当日に現地に対応する方の氏名及び連絡先を記載して下さい。

#### 4. 河川の名称

河川の流れに沿って(河口に向かって)左が左岸、右が右岸です。

#### 5. 使用目的

使用目的、方法等の概要を具体的に記載して下さい。

#### 6. 使用場所

使用場所の住所又は地先名を記載して下さい。なお、使用場所が広範囲にわたる場合は、〇〇～〇〇等と記入し、別途添付する地図等で使用場所を明確にして下さい。

#### 7. 簡易仮設物の名称及び構造・数量

搬入又は設置する簡易な仮設物等(コーン、テント等)がありましたら、その名称と構造・数量を記載して下さい。

#### 8. 使用期間

準備、後片づけを含めた期間を記載して下さい。

#### 9. その他

上記以外について記載すべきことがありましたら記載して下さい。

■ 提出先

笹目橋～西新井橋 【岩淵出張所】 東京都北区志茂5-4-1-2

窓口受付時間（平日）9：45～11：30, 13：00～16：00

ただし、河川パトロール等により一時的に不在となることがあります。

TEL：03-3901-4240

FAX：03-3901-2442

メールアドレス：ktr-arage-iwabuchi@mlit.go.jp

西新井橋～河口 【小名木川出張所】 東京都江東区大島8-3-3-26

窓口受付時間（平日）9：45～11：30, 13：00～16：00

ただし、河川パトロール等により一時的に不在となることがあります。

TEL：03-3681-6131

FAX：03-3683-7453

メールアドレス：ktr-arage-onagigawa@mlit.go.jp

## 河川敷一時使用（無人航空機） 届出書作成にあたっての注意事項・禁止事項

### ➤ 注意事項・禁止事項

- 新・荒川下流河川敷利用ルール※を守ること。
- 届出書様式の使用上の遵守事項を了解し、一時使用の届出を行うこと。
- 緊急用河川敷道路や天端道路は、**緊急車両や他の利用者が通行できる道幅を確保すること。**
- 一般利用者に迷惑をかける行為は**禁止！！**
- 届出内容以外の行為は**禁止！！**
- 火気厳禁！！
- 基本的に日没以降の飛行は**禁止！！**（使用時間は日の出から日没まで）
- インク、ペンキ、石灰で印、ラインを引くことは**禁止！！**
- 地形が変わる行為は**禁止！！**（小屋を建てる）
- 基本的に簡易な仮設物は占用地内のみ設置可能。
- 河川敷の利用に相応しくない内容は**禁止！**
- 届出後であっても、工事等により使用場所等の変更が必要になる可能性がある。

### ➤ 車両について

- 当事務所管内については、許可された車両以外は、『河川敷道路等』への進入は出来ません。  
「許可された車両」とは河川工事のための工事車両、警察や消防などの緊急用車両、河川敷内の公園等の施設管理者の車両、河川駐車場への乗り入れる車両です。

### ※ 新・荒川下流河川敷利用ルール（平成30年1月1日施行）

#### ■ 禁止行為

1. ゴミの不法投棄は禁止です。
2. たき火やゴミの焼却は禁止です。
3. 犬のノーリードやペットなどのフンの放置は禁止です。
4. 自動車及びオートバイの河川敷への進入は禁止です（管理者の許可がある場合は除く）。

#### ■ 危険・迷惑行為

1. バットやゴルフクラブなどは指定場所以外では使用しない。[危険行為]
2. バーベキューや煮炊きなどは指定場所以外では行わない。[危険行為]
3. 無人航空機（ドローン・ラジコン機等）及び模型飛行機は飛ばさない。[危険行為]
4. 他の者に迷惑をかける騒音は出さない。[迷惑行為]
5. 22時以降は音の出る花火はしない。[迷惑行為]

#### ■ マナー

1. 自転車は徐行し、歩行者を優先しましょう。
2. 河川敷道路に自転車や荷物などを置かないようにしましょう。
3. 河川敷道路では、キャッチボールなど通行の妨げとなることはやめましょう。

## 無人航空機飛行計画書

河川管理者 殿

担当者

氏名	
住所	
連絡先	

飛行の目的			
飛行日時	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで		
飛行場所	※飛行範囲の分かる図面を添付すること。		
操縦者氏名及び勤務場所			
飛行主体		主催者	
占用地の区分	占用地使用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
占用地管理者使用了解			
航空法関係	航空法132条 (飛行禁止空域の飛行)	<input type="checkbox"/> 飛行禁止空域を飛行する。(航空法の許可書を添付)	
		<input type="checkbox"/> 飛行の禁止空域以外で飛行する。	
	航空法第132条の2 (飛行の方法)	<input type="checkbox"/> 以下に該当する飛行の方法を行う。(航空法の承認書を添付) <input type="checkbox"/> 夜間飛行 <input type="checkbox"/> 目視外飛行 <input type="checkbox"/> 人又は物件から30m以上の距離を確保できない飛行 <input type="checkbox"/> 催し場所上空の飛行 <input type="checkbox"/> 危険物の輸送 <input type="checkbox"/> 物件投下	
		<input type="checkbox"/> 航空法132条の2に基づく飛行の方法にて行う。	
	※許可、承認を受けている場合は、許可書、承認書及び航空法の許可申請時に提出した無人航空機飛行マニュアルの写しを添付すること。		
安全確保について	1. 安全を確保するため設定する一般利用者の立入禁止区域図を添付すること。		
	2. 上記を担保する保安要員及び飛行している旨を周知する看板等の設置計画を添付すること。(1.の図面に加筆でも可とする。)		
	3. 緊急時の連絡体制を記載した資料を添付すること。		

# 無人航空機飛行計画書

河川管理者 殿

担当者

氏名	
住所	
連絡先	飛行エリアに占有地が含まれる場合は、事前に了解を得て下さい。

無人飛行機を飛行させる目的を記載して下さい。		無人飛行機に関する準備から片付けまでの時間を記載して下さい。	
飛行の目的			
飛行日時	年 月 日 時 分から	年 月 日 時 分まで	了解日、担当部署名、連絡先
飛行場所	無人飛行機の飛行を主目的としている自治体等の名称を記載して下さい。 ※飛行範囲の分かる図面を添付すること。		
操縦者氏名及び勤務場所			
飛行主体	主催者		飛行禁止区域の飛行の有無。
占有地の区分	占有地使用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
占有地管理者使用了解			
航空法関係	航空法132条 (飛行禁止空域の飛行)	<input type="checkbox"/> 飛行禁止空域を飛行する。(航空法の許可書を添付)	
	航空法第132条の2 (飛行の方法)	<input type="checkbox"/> 飛行の禁止空域以外で飛行する。 <input type="checkbox"/> 以下に該当する飛行の方法を行う。(航空法の承認書を添付) <input type="checkbox"/> 夜間飛行 <input type="checkbox"/> 目視外飛行 <input type="checkbox"/> 人又は物件から30m以上の距離を確保できない飛行 <input type="checkbox"/> 催し場所上空の飛行 <input type="checkbox"/> 危険物の輸送 <input type="checkbox"/> 物件投下	
	航空法に基づく飛行の方法によらない場合は、該当する項目		<input type="checkbox"/> 航空法132条の2に基づく飛行の方法にて行う。
※許可、承認を受けている場合は、許可書、承認書及び航空法の許可申請時に提出した無人航空機飛行マニュアルの写しを添付すること。			
安全確保について	1. 安全を確保するため設定する一般利用者の立入禁止区域図を添付すること。		
	2. 上記を担保する保安要員及び飛行している旨を周知する看板等の設置計画を添付すること。(1.の図面に加筆でも可とする。)		
	3. 緊急時の連絡体制を記載した資料を添付すること。		



# UAVの飛行コース及び人員の配置

【詳細図】

